

## 第1回富良野市地域ケア推進会議

### (4) 地域包括ケア推進に関することについて

#### ① 第8期富良野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における実績

⇒議案に基づき、事務局より説明 17:00-17:25

小山内会長：

第8期高齢者保健福祉計画および介護保険基本計画における実績について説明いただきました。これに関してご意見・ご質問はございませんか

草野委員：

わからないところを教えてくださいたいのですが、ちょっと割愛されたところになるかもしれないのですが11ページのところで、居宅サービスのところで下段の方で、要支援1、2の居宅サービスの利用状況の中で、訪問看護それから入所療養介護の見込量を大きく下回っているというところで、訪問看護とかって結構必要なサービスになってくるかと思うんですけど、この例えば見込量というのが何によって算出されているものなのか、でこれが大きく下回っているということではそれは適正なサービスにつながっていないという風に把握していいのか、なかなかこう新規に認定を受けた方と、状況とサービス実態がこうリンクしていないと思っていいのか、どうとらえたらいいのかちょっとわからなかったので教えてくださいたいと思います。

事務局：

表の真下にありますが、[資料]見込量：8期計画を立てたときの見込量でして、計画を立てたときは新型コロナウイルスの影響を予想していない状態で見込んだ数字となっているので、実績と乖離してしまうことはありえるのかなといった形になっています。お示しの仕方もわかりやすくてきたのかな、とも思っております。

草野委員：

ではやはりコロナの影響で、なかなかサービス実態につながりにくい状況があったという解釈が素直なところでしょうか。

事務局：

はい。

草野委員：

ではさきほどご説明のあった10ページの中でも、認定を受けたけれどもサービス未利用の方が、というのも、コロナの中で実際「家には来てほしくない」といったサービスの利用控えみたいなものが、反映されたといった風にとらえて

いいでしょうか。

事務局：

訪問なのでもちろん「自宅に来てほしくない」というのもあったでしょうし、事業所の方でストップしているというのもあり、その影響はこの文書だけで見るとこう目立ったところが出ているのですが、実態としてはそういったコロナの影響が効いている、ということになります。

草野委員：

わかりました。ありがとうございます。

小山内会長：

あとなにかございませんか。

草野委員：

ただ訪問看護に関していえば、富良野は他の地区に比べて訪問看護の数は結構少ない方なので、もっともっと増やしてもらいたいというのが、僕自身というか医師会としてみたときに、地域医療構想のときも訪問診療と訪問看護が他の地域に比べて少ないと指摘されますので、訪問看護ももっと増やすよう指導の方よろしくお願いします。

小山内会長：

あとなにかございませんか。

その他、事務局から何かございませんか。

事務局：

次回の地域ケア推進会議ですが、8月9日というところで、予定させていただいております。次回の会議なんですけれども、議題としては、実施いたしました、在宅介護実態調査および日常生活圏域ニーズ調査その結果について、お知らせをいたしたいと思っております。以上です。

小山内会長：

2月に出した質問等の結果ですね。では皆さん8月9日水曜日よろしくお願いします。

小山内会長：

あと事務局の方からなにかございませんか。

小山内会長：

最後になりましたけれども、全体を通して委員の方から何でもいいので、ご質問ご意見ございませんか。

特に内容ですので、これで第1回富良野地域包括支援センター運営協議会および第1回富良野市地域ケア推進会議を終了させていただきます。

今日はお忙しい中、お集まりいただきまして大変ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。